# 平成25年度授業シラバスの詳細内容

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名(英) | 卒業研究(Graduation Thesis) | | | 授業コード | C109937 |
| 担当教員名 | 福島　学 | | | | |
| 配当学年 | 4 | 開講期 | 前期 | | |
| 必修・選択区分 | 必修 | 単位数 | 6 | | |
| 履修上の注意または履修条件 | これまでの科目でわからない事柄がある場合は，必要に応じて早期に再学習することを薦めます. | | | | |
| 受講心得 | 社会に出る前の総仕上げの科目であるため，自ら学びスキルとして取り込むという意識をしっかりと持って受講することを勧めます. | | | | |
| 教科書 | 適時指示します | | | | |
| 参考文献及び指定図書 | | | | | |
| 関連科目 | これまで学習してきた事柄の全てが関連科目となります. | | | | |

| | |
|---|---|
| 授業の目的 | これまで学んだ事柄をスキルとして社会で活かせるように昇華することを目的とします. |
| 授業の概要 | これまで学んだことを「社会で活かす」ための方法を見つけ，実践し，確認します. |

| ○授業計画 | |
|---|---|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第 1 週 ： 全体説明<br>本科目の位置づけが卒業後に活躍したい分野を見つけ，それに必要なスキルを修得することであることを確認するとともに，卒業後の目標を考えます. | 予習：研究ゼミナールの活動成果および春季休業期間中の活動成果を整理する.<br>復習：将来の目標と後期の目標の整合性を確認する. |
| 第 2 週 ： 計画(1)<br>目標をクリアするための計画を策定します. | 予習：後期目標に至るまでに必要となる事柄を整理し，必要な情報を収集する.<br>復習：計画実施に必要な機材等の設備について調べる. |
| 第 3 週 ： 計画(2)<br>目標をクリアするための計画を策定します. | 予習：後期目標に至るまでに必要となる事柄を整理し，必要な情報を収集する.<br>復習：計画実施に必要な機材等の設備について調べる. |
| 第 4 週 ： ドキュメントコミュニケーション<br>技術者として必須である技術報告書のリーディングとライティングについて学びます. | 予習：計画を技術報告書様式と照らして抜けがないことを確認する.<br>復習：策定した計画から報告書目次相当を作成する. |
| 第 5 週 ： 計画(3) | |

| | |
|---|---|
| 技術報告書の様式と照らし合わせて計画のチェック項目を作成します. | 予習:計画から必要機材について調査する.<br>復習:チェック項目を確認する. |
| **第 6 週 : 計画報告**<br>策定した計画を報告し, 機材等での競合がないことや, 目標または手段が共通であったり前後関係であったりする計画との連携を考えます. | 予習:計画についてプレゼンの用意をする.<br>復習:計画実施に必要な事柄を調査する. |
| **第 7 週 : 実施(1)**<br>計画にしたがって実施します. | 予習:実施に必要な機材操作方法およびデータ収集方法を調べる.<br>復習:実施結果の正当性を確認する. |
| **第 8 週 : 実施(2)**<br>計画にしたがって実施します. | 予習:実施に必要な機材操作方法およびデータ収集方法を調べる.<br>復習:実施結果の正当性を確認する. |
| **第 9 週 : 実施(3)**<br>計画にしたがって実施します. | 予習:実施に必要な機材操作方法およびデータ収集方法を調べる.<br>復習:実施結果の正当性を確認する. |
| **第10週 : 中間報告**<br>計画の進捗として達成率を報告します. 得られた結果の信頼性について検証した結果の報告および目標に到達できるかについての判断をそれまでに得られたデータに基づいて報告します. | 予習:中間報告のプレゼンの準備をする.<br>復習:コメント等に基づいて計画の見直しを行う. |
| **第11週 : 実施(4)**<br>計画にしたがって実施します. | 予習:実施に必要な機材操作方法およびデータ収集方法を調べる.<br>復習:実施結果の正当性を確認する. |
| **第12週 : 実施(5)**<br>計画にしたがって実施します. | 予習:実施に必要な機材操作方法およびデータ収集方法を調べる.<br>復習:実施結果の正当性を確認する. |
| **第13週 : 実施(6)**<br>計画にしたがって実施します. | 予習:実施に必要な機材操作方法およびデータ収集方法を調べる.<br>復習:実施結果の正当性を確認する. |

| | |
|---|---|
| **第14週：報告書作成**<br>報告書の様式に従って実施内容の文書化を行います. | 予習：技術報告書の様式を確認し，対応する実施結果のデータを整理する.<br>復習：報告書として適切に記載されていることを確認する. |
| **第15週：報告書提出**<br>作成した報告書を提出します．提出時に口頭試問が行われ，試問結果に応じて報告書の修正・訂正を行います. | 予習：報告書として適切に記載されていることを確認する.<br>復習；活動を通して発見した自己を整理し夏季休業期間中の活動準備を行う. |
| **第16週：期末試験** | |

| | | |
|---|---|---|
| **授業の運営方法** | (1)授業の形式 | 「講義形式」 |
| | (2)複数担当の場合の方式 | |
| | (3)アクティブ・ラーニング | 「アクティブ・ラーニング科目」 |
| **備考** | | |

| **○単位を修得するために達成すべき到達目標** | |
|---|---|
| **【関心・意欲・態度】** | ①卒業後の進路を見据えるために必要な情報を収集・整理し活用する意志を維持することが出来る. |
| **【知識・理解】** | ②技術課題の把握とそれが課題となっている原因を理解することができる. |
| **【技能・表現・コミュニケーション】** | ③プロジェクトとして取組むために必要なドキュメントコミュニケーションが出来る. |
| **【思考・判断・創造】** | ④課題解決策およびそのための計画を立案・実施することができる.<br>⑤プロジェクトとして目標に向かうために必要なコミュニケーションが取れる. |

| ○成績評価基準（合計100点） | | | 合計欄 | 0点 |
|---|---|---|---|---|
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | **期末試験・中間確認等（テスト）** | **レポート・作品等（提出物）** | **発表・その他（無形成果）** | |
| **【関心・意欲・態度】**<br>※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | | | | |
| **【知識・理解】**<br>※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。 | | | | |
| **【技能・表現・コミュニケーション】**<br>※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | | | | |
| **【思考・判断・創造】**<br>※「考え抜く力」を含む。 | | | | |

**（「人間力」について）**

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

| ○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安 | |
|---|---|
| **成績評価方法** | **評価の実施方法と達成水準の目安** |
| **レポート・作品等（提出物）** | |
| **発表・その他（無形成果）** | S：設定したテーマに対し，教員指導のもと，仮説を立て実験を実施し検証を行いその成果を学外発表できる水準の信頼性とできる<br>A：設定したテーマに対し，教員指導のもと，仮説を立て実験を実施し検証を行いその成果の信頼性が確認できる<br>B：設定したテーマに対し，教員指導のもと，仮説を立て実験を実施し検証を行いその成果をまとめられる<br>C：設定したテーマに対し，教員指導のもと，仮説を立て実験を実施し検証を行うことができる |